

第26週の発生動向 (2006/6/26~2006/7/2)

1. 水痘については、むつ保健所管内(第25週から)において、**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、五所川原保健所管内(第19週から)において**警報**が継続しています。
3. ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内において、新たに**警報**が出されました。
4. 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内で第24週から**警報**が、むつ保健所管内では新たに**注意報**が出されました。
5. インフルエンザについては、県全体では減少傾向にありますが、八戸保健所、上十三保健所およびむつ保健所管内において、定点あたり患者報告数が多い状態が続いていることから引き続き注意が必要です。迅速診断キットにより、弘前保健所管内で、B型:1件、むつ保健所管内ではB型:35件が報告されています。

第26週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	定点数						
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		青森	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	
(72) インフルエンザ	2	0.14	1	0.07	65	4.64			63	7.00	35	5.83	166	2.55	-100							
(60) 咽頭結膜熱	10	1.11	1	0.11	4	0.44	1	0.20			6	1.50	22	0.52	5							
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.78	12	1.33	4	0.44	1	0.20	7	1.17	7	1.75	38	0.90	-5							
(62) 感染性胃腸炎	28	3.11	3	0.33	3	0.33	3	0.60	6	1.00	24	6.00	67	1.60	16							
(63) 水痘	16	1.78	7	0.78	35	3.89	12	2.40	10	1.67	27	6.75	107	2.55	-6							
(64) 手足口病	2	0.22			2	0.22			2	0.33			6	0.14	-1							
(65) 伝染性紅斑	6	0.67	7	0.78	5	0.56	15	3.00	3	0.50	1	0.25	37	0.88	0							
(66) 突発性発しん			5	0.56	1	0.11	1	0.20	5	0.83	3	0.75	15	0.36	-6							
(67) 百日咳															0							
(68) 風しん															0							
(69) ヘルパンギーナ	32	3.56	70	7.78	3	0.33	1	0.20	2	0.33	2	0.50	110	2.62	31							
(70) 麻しん(成人を除く)															0							
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.44	16	1.78	8	0.89	4	0.80	30	5.00	14	3.50	76	1.81	-29							
(73) 急性出血性結膜炎															-1							
(74) 流行性角結膜炎	3	1.50			3	1.50	4	4.00	1	0.50			11	1.00	-2							
(59) RSウイルス感染症															-3							
(82) マイコプラズマ肺炎					7	7.00					9	9.00	16	2.67	-3							
合計																65	42	23	11	6		

■は警報 ■は注意報 「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 各届出保健所:弘前:1人,八戸:1人 (18年計 2人)
- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 各届出保健所:弘前:1人,八戸:1人,五所川原:1人 (18年計 10人)

感染症の窓

ヘルパンギーナ

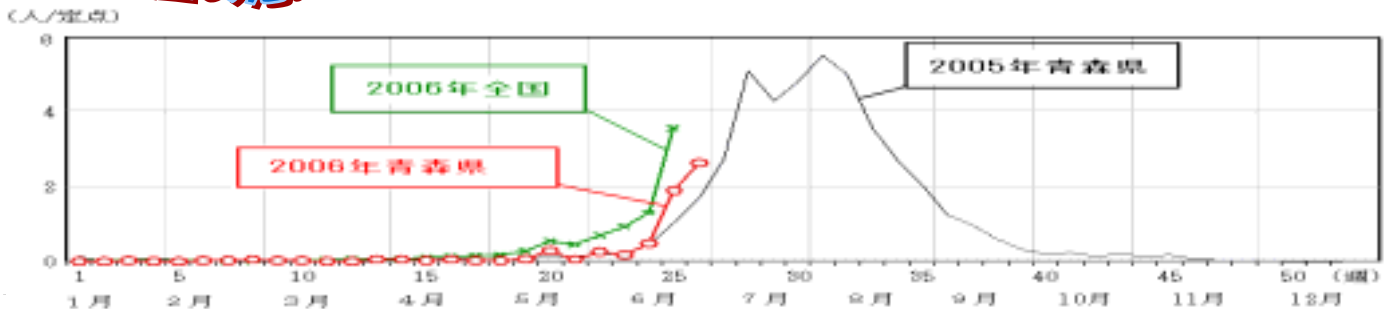


図1 全国および青森県の報告数推移

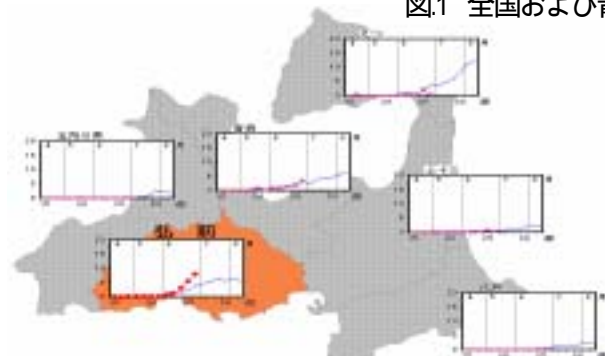


図2 保健所別報告数推移

- 本疾患は発熱、咽頭痛などを主症状とし、6月から8月に流行するエンテロウイルス属の主にコクサッキーA群ウイルスによる感染症です。県内では、弘前保健所管内で第25週から急増しています(図1,2)。本ウイルスは咽頭および腸管で増えますので、感染経路は口腔からの飛沫感染や乳幼児の介護者の手などを介する間接的経口感染です。
- 予防は、うがいを励行し、乳幼児のおムツや下着などを取り扱う方は手洗いを丁寧に行うことが大切です。